

姉妹・友好都市ニュース

International Friendship Association of Ibaraki

vol.43 2005.1.15

茨木市国際親善城市協会



友好都市・中国安慶市の象徴「しんぷうとう振風塔」を背に記念撮影する茨木市民親善訪中団の皆さん [本文は2・3ページ]

目 次

- 市民親善訪中団3年ぶりに安慶市を訪問 2・3
- ミネアポリス市・安慶市から2団ずつ来茨 2
- 実用日本語学習会、会員募集 3
- 内海町への市民訪問団、内海町宿泊施設利用補助制度 4
- ミネアポリス市への英語学習ツアー、英語スピーチ大会 5
- 姉妹都市活動室 6
- ミネアポリス市への少年サッカーチーム、キャンプ交流訪問団 6・7
- We Are Friends ! 7
- 国際交流の集い 8



景勝地・黄山に登って大満足

市民親善訪中団 幽玄の美に魅了される

団長 井上 宏一

安慶市に行ってみたくは思いませんか？是非一度訪れてみて下さい。お勧めします。ミネアポリスには何人かの友人がいますが、今回、市の広報で安慶市訪問と黄山の旅を知り、即座に申し込みました。水墨画の世界－黄山に機会があれば行きたかったので…。

それからです。安慶ってどこだ？人口は？地理は？歴史は？特産物は？茨木市との友好の歴史は？なんだかんだと予備知識を蓄え、出発前の説明会に出席。どういう風の吹き回しか訪問団長にさせられ、まあいいか、どうせ誰かがしなきゃならない

郷や図書館など、後者は浄水場、下水処理場、環境衛生センターなどの都市インフラ施設を視察しました。

また、都市建設視察団は忙しいスケジュールの中で、茨木市・安慶市友好都市委員会の委員や11月上旬に安慶市を訪問した市民訪中団のメンバーと懇談し、安慶市の現状について多彩な意見を交換しました。



ミ市水上祭の湖の女王・提督が市長・議長を表敬訪問

ミネアポリス市から 安慶市 2団づつの友好訪問

10月と11月には、アメリカ合衆国・ミネアポリス市と中国・安慶市からそれぞれ2団づつの訪問がありました。

10月8日は、大阪・御堂筋パレードに参加するため来日した水上祭訪問団一行4人が市長、議長を表敬訪問し、見学した郡山宿本陣では足の置き所に苦勞しながら、長い本陣の歴史に感嘆していました。

11月にはミ市姉妹都市協会のケイティ・フォーニア夫妻など3人が茨木市を訪れ、姉妹都市活動室他の歓待を受けました。

安慶市からは11月に政府代表団と都市建設視察団が訪問しました。前者は小学校や彩都、見山の

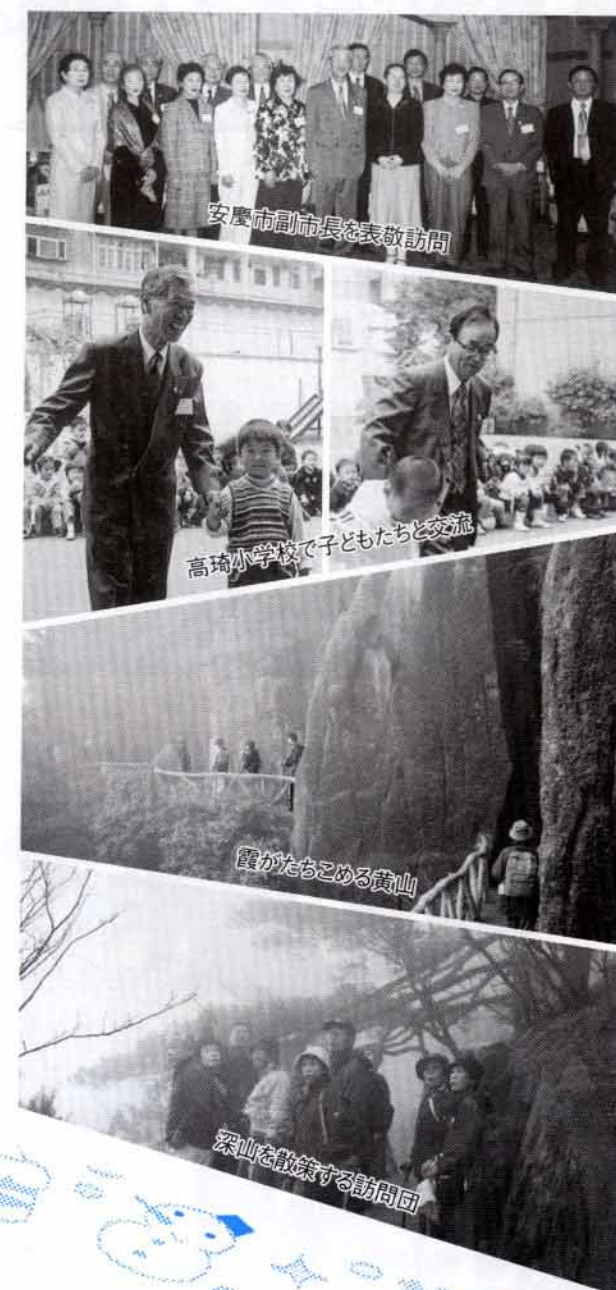


茨木市・安慶市友好都市委員会委員等との懇談会

ならと気楽に考えましたが、その後すぐに大間違いだった事が判明。表敬訪問あり、歓送迎会あり、茨木市長の親書も預かり、茨木市民として失礼の無いようにしなければ、なにせ先方は礼を重んずる国だから。挨拶もしなければ、そうだ、少し中国語も入れよう…と我が家のホスト学生馬君に特訓も受け、出発前からてんやわんや。総勢十二名(内三組はご夫婦)に美人のツアーコンで旅立ちました。結果？大満足。

小学校、幼稚園、黄梅劇学校、その他至る所でいわゆる熱烈歓迎！これも長年の両市の友好交流のおかげ！我々はその歴史に便乗させていただき大変貴重な体験、素晴らしい経験をさせていただきました。安徽省の夕方七時のTVニュースにも映ったのですから。

来年は友好都市締結二十周年、盛大なイベントが予定されています。こぞって参加しましょう。



安慶市副市長を表敬訪問

高琦小学校で子どもたちと交流

霞がたちこめる黄山

深山を散策する訪問団

Let's learn Japanese together!

実用日本語学習会

実用日本語学習会では、日本語を母語としない方を対象に、マンツーマンで日本語学習の支援を行っております。

また、学習支援者も同時に募集していますので、興味のある方は、ぜひ一度見学に来て下さい。

と き：〈Thursday Class〉 1:30～3:00 p.m.
〈Friday Class〉 10:00～11:30 a.m.

ところ：8th Floor at City Hall Annex

ひょう：1,500円 (テキスト代は実費)

れんらく：新山宅 (Tel. 090-3868-1346)



● 会員募集 ●

本協会では、姉妹・友好都市をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方々の入会をお待ちしています。

会員には、年2回発行する協会報の送付や、協会が催す交流行事のご案内をいたします。

〈年会費〉 個人会員 (一般) 2,000円
(学生) 1,000円

〈申込先〉 協会事務局 (市役所南館 8階市民生活部
市民活動推進課内)

TEL.620-1604

豊かな自然と人情味あふれる歓迎に大満足

内海町への市民訪問団



11月18日から19日にかけて、小豆島・内海町へ市民訪問団を派遣いたしました。表敬訪問やオリーブの記念植樹、そうめんの箸分け体験など、普通の観光旅行では経験できないことを体験できるいい機会となりました。

当日はあいにくの雨模様で、急きょ行程の変更を余儀なくされましたが、これが大正解。翌日の朝に変更となった寒霞溪の見学では、例年混雑していてゆっくり見学できないはずが、早朝ということでうまく混雑を回避でき、景色をゆっくりと堪能できました。

船が島に到着してから翌日出発するまで、献身的にガイドをしてくださった町役場の職員の方々をはじめ、多くの町民から歓迎をうけ、大満足の訪問となりました。



ドキドキのそうめんの箸分け体験



四方指からの絶景を背景にパチリ



オリーブの記念植樹



昭和初期の時代にタイムスリップ!

登録有形文化財のもろみの蔵も見学!

市が内海町宿泊施設利用者に補助

姉妹都市内海町との交流促進を図るため、内海町の宿泊施設を利用する市民の皆さんに対し、宿泊費用の一部を市が補助する制度があるのをご存知ですか?

補助額(1泊)は、中学生以上3,000円、小学生1,500円で、1人につき年間2泊分まで補助されます。詳しくは、市民活動推進課へ、または茨木市ホームページをご覧ください。



歓迎茨木市民訪問団

表敬訪問の最後に、はいチーズ!

ミネアポリスを満喫!!

— 英語学習ツアー —

7月19日~25日

7月9日~25日、英語学習ツアー一行9人が姉妹都市・ミネアポリス市を訪問しました。

ミネアポリス市長表敬訪問や週末のホームステイ体験のほか、平日の午前はESL(第2言語としての英語)専門の大学教授からアメリカの歴史や文化など様々なテーマで授業を受け、午後は宿題を片手に美術館やショッピングモールに出かけるなど、充実した17日間になりました。



楽しい英語の授業



ホームステイ先のバティさんと朝食(右端が三谷さん)

Life is just a bowl of cherries

団長 三谷 桂子

「あのベッドが落ちたんですけど」「電気が消えて真っ暗です」...やっと大学の寮に落ち着けたと思ったのも束の間、成り行き団長の私の部屋の電話は鳴りっぱなし...この夏7月9日からの英語学習ツアーは、こうして始まったのです。

その後も難問は次々と襲ってきたのですが、帳消しにしてもまだお釣りがくる程のエキサイティングな出来事も目白押しで。

毎朝、寮近くのバス停から20分足らずの教室へのバスの中は“人種のサラダボール”のアメリカそのもの。りんご丸かじりのバレリーナにソマリアからの避難民。そのうちお互い顔馴染みに...

教室はミネアポリス観光局のご好意で、ミシシッピー川を見下ろす素敵なビルの快適な一室。授業は、ミネソタ大学ESL教授のパトリシア先生始め3人の先生方が交替で、午後のアクティビティを入れれば6時間余りも。「アメリカの価値観」という講義は、私には特に興味深いものでした。市長表敬訪問では全員英語でご挨拶。茨木・ミネアポリス・デイに浴衣で参加。異文化を楽しんだホームステイ。さよならパーティーでは「おじいさんの古時計」や「いい日旅立ち」を日米で合唱...「ああ、いい人生だった」と振り返る日が来た時、この夏の17日間はきっと貴重な日々になることでしょう。

お返しに何ができるか?今真剣に考えています。



中学生の部 1位の安藤さん

流暢な英語でスピーチ

第21回 英語スピーチ大会

11月3日、「第21回英語スピーチ大会」を開催しました。

今年度は中学生16人、高校生5人が出場し、中学生の部では、指定暗唱文“Helping Others”を、高校生の部では、夢を持つことについて、ボランティア活動から得た貴重な経験など、自由なテーマで個性溢れるスピーチが披露されました。

【中学生の部】

- 第1位 安藤 真理奈 茨木市立東雲中学校
- 第2位 松村 ひかり 茨木市立東中学校
- 第3位 廣田 麻那 茨木市立南中学校

【高校生の部】

- 第1位 宇野 田鶴子 大阪府立大手前高等学校
- 第2位 宮田 正信 大阪府立春日丘高等学校
- 第3位 堀 みなみ 大阪府立茨木高等学校



高校生の部1位の宇野さん



'04少年サッカーチーム サッカー試合ホームステイ姉妹都市交流で活躍



開会式の前に記念撮影



試合前のラインナップ



ミネアポリス市ラインバック市長にあいさつ

去る7月ミネアポリス市郊外のブレイン市で開催された「USA杯」サッカー大会に参加しました。サッカー場が50面あるナショナルスポーツセンターで競技するこの大会は、世界20ヶ国、米国31州、950チームが参加する大会で、18日夕方の開会式では、入場行進に1時間以上もかかる大きな大会です。

翌日から競技が始まり、予選リーグでは2勝1敗し、ブロック2位で決勝トーナメントに進出しましたが、決勝トーナメントでは、残念ながら1回戦で敗退しました。

茨木チームの選手たちは、他のチームと比較して技術的には見劣りしませんが、慣れない深い芝生であり、体格の面でも大きな差がありました。

サッカーチームとして、選手14名は非常に厳しい人数でしたが、ケガ人や病人も出ず、みんなで力を合わせて頑張ってくれたことが、チームリーダーとしては何よりも嬉しいことでした。



7月25日、20人の中学生達とミネアポリスへ飛び立ちました。

ロングレイクキャンプ場に着くと、私たちの途中参加のため、ミセス・パットらが進行中の予定を変更してくれるなど配慮してくれました。子どもたちは徐々にコミュニケーションに慣れ、4日目を迎えたころには、アメリカの子たちとも仲良くなり、自由時間にも一緒に遊ぶ姿が見られるようになりました。

1週間のホームステイの途中、ホストファミリーから「子どもたちが何も話さないで、食べたいものや、したいことが分からないので困っている」という声がありました。そこで、「何でもいから積極的に話そう」と声をかけたところ、その後は積極的にコミュニケーションをとるようになったようです。

このサッカーチームには、サッカー大会参加の他に姉妹都市交流という大きな目的もありました。18日には、ミシシッピー河畔のニコレット島で「茨木デイ」に参加し、茨木市から贈られた銅鐸のモニュメント「双珠の鐘」の鐘を一人一人打ち鳴らし、祈りを捧げました。これからも、サッカーを通しての交流が末永く続くことを祈念しています。

(チームリーダー 中見秀夫記)

キャンプ最終日、表彰式が和やかな雰囲気で行われ、各カウンセラーから子どもたちに賞状が手渡されましたが、一人一人に対して非常に的確なコメントがなされ、カウンセラーが子どもたちの個性をきめ細かに観察していたことがわかりました。キャンプ場を出発する日はあいにくどしゃ降りとなりましたが、バスが発車する間、涙を流しながら追いかけて見送っていたカウンセラーらの純粋さに驚かされました。子どもたちの心にもきっと何か残るものがあったと思います。旅行中最も感動的なシーンでした。

行程全体に盛りだくさんのプログラムが盛り込まれ、子どもたちは大いに満足したものと感じます。キャンプ場の方々、姉妹都市協会の方々を初めとして地元の方々非常に丁寧に対応くださり、大変好感が持て、自分自身にとっても貴重な体験となりました。

(キャンプ交流訪問団同行 山下雅光記)

We Are Friends! 英語に親しもう 青少年活動室

英語で自己紹介やクッキング、ハロウィンパーティなど、毎月楽しいテーマについて、ゲームやクイズの形式で、講師の久徳ウェンディさんと一緒に英語に親しむ「We Are Friends!」は、原則第3日曜日にクリエイトセンターで行っています。小学校4年生から中学校3年生まで無料で参加できますので、英語を習ったことのない人も気軽に参加してください!



賞状には何が書いてあるのかな?



へびと遊ぶ



カヌーを先に洗われるのはどのチーム?



ミネアポリス彫刻庭園にある「スプーンとさくらんぼ」の前で

Ibaraki Intercultural Network (IIN) 姉妹都市活動室

姉妹都市活動室では、英語力や国際感覚の向上、異文化理解のため、ゲストスピーカーを招いて、英語によるスピーチを聴いたり、ディスカッション等を行っています。また、JICA研修員、阪大留学生や茨木市近隣在住の外国人との交流を楽しんでいます。興味のある方は、見学に来てください。

- 例会：第1木曜日 午前9時30分～11時30分
 第3土曜日 午後2時～4時
 場所：市民総合センター(クリエイトセンター)
 年会費：正会員 2,000円(18歳以上)
 準会員 1,000円(中・高校生)

キャンプ訪問団、ミネソタの純粋さに感激

寄 附

本市の国際交流事業の推進のためにと次の方から温かいご寄附をいただきました。ご厚志に心からお礼申し上げます。(5月~12月、敬称略)

11月 茨木ライオンズクラブ (10万円)



編集・発行

茨木市国際親善都市協会

〒567-8505

茨木市駅前三丁目8番13号

茨木市市民生活部市民活動推進課内

TEL.(072)620-1604 FAX.(072)622-7202

在住外国人と市民との交流の場

International Gathering

本協会と市内奉仕団体からなる「国際交流の集い」実行委員会が去る12月に開催され、今年度の「国際交流の集い」の概要が決まりました。

茨木市福祉文化会館5階文化ホールで、第1部〈外国人による日本語スピーチ発表会〉、第2部〈世界の芸能文化の紹介〉の後、会場を3階の302号室に移して、第3部〈市民と外国人の交流会〉を開催いたします。

第2部では、各国の民族衣装によるファッションショーや外国人の着物体験の後、少林寺拳法の演武、内海町音頭の歌唱と踊り、バトントワリングの披露、和太鼓や津軽三味線の演奏などを予定しております。

第3部は、市内在住の外国人や留学生の方々と市民、また外国人相互の情報交換の場となっておりますので、ぜひご参加ください。



各国民族衣装のファッションショー